

データ×ネットでトラッキーやジャビットがしゃべるしゃべる 500円Wi-Fiで IoTプロ野球ニュース

深澤 宏

マイコンがインターネットにつながると、さまざまなウェブ・データを活用した機器の制御が可能です。

例えば雨雲が接近している情報を取得してアラームを鳴らしたり、スポーツの試合結果を液晶画面に表示したりできます。本誌2016年1月号(7)でも紹介していました。

本稿では、インターネットからプロ野球の試合結果を取得して、マスコット・キャラクターのぬいぐるみが試合結果を教えてくれる装置を製作します(写真1, 図1)。今回は、阪神タイガースのマスコット・キャラクターであるトラッキーくんを使います(写真1)。

また、トラッキーくん顔認証モジュールを組み込むことで顔認証を行い、その人が欲しい情報(お気に入りチームの試合結果)を優先的に教えてくれるようにしてみます。

動作概要

試合結果通知マスコットの動作を以下のようにしています。

0, あらかじめ顔と好きな球団(阪神巨人)を登録

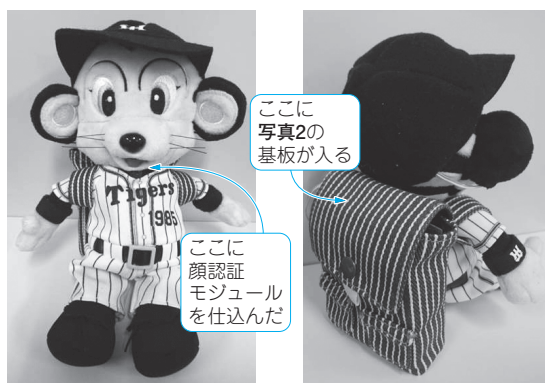


写真1 ウェブから試合結果を取得し音声で通知する「IoTプロ野球ニュース・マスコット」

- 1, 電源ONでWi-Fiモジュールを使ってWi-Fiルータへ接続
- 2, Wi-Fiルータ経由でインターネットに接続
- 3, 特定のサイトに行き、試合結果を取得
- 4, 顔認証モジュールを利用して相手を認識
- 5, 試合結果を音声合成ICを使って通知

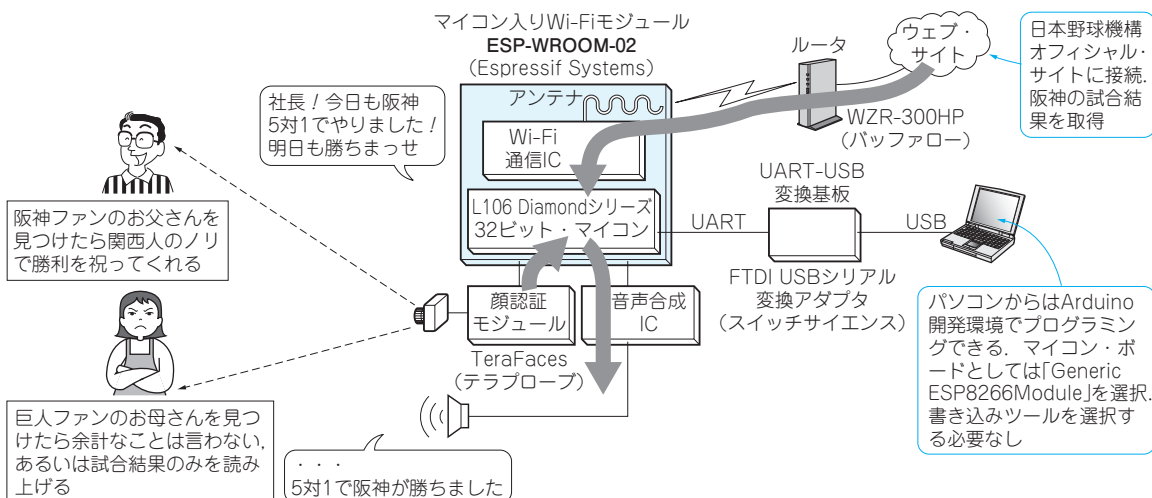


図1 「IoTプロ野球ニュース・マスコット」の動作